

日本共産党

撤回を申し入れ

日本共産党
市会議員団

また、ぶらくり丁へ ミニポートピア建設！ 「設置反対」の市民の声を踏みにじるな！ 市長の「同意条件の緩和」に抗議！



日本共産党市会議員団は、3日朝、大橋建一市長（写真中央）にポートピア建設のための「市長同意の前提条件の見直し」に抗議する申し入れを行いました。

市の見直しは、ぶらくり丁の有交跡地へミニポートピア（舟券売り場）建設の動きが活発化しているも、設置合意のための「地元の範囲」を狭め、市長に合意権限を強化する内容となっています。日本共産党市会議員団は、強く抗議撤回を求めました。

地元同意の範囲を狭める！

これまで前提条件としてきた地元の範囲のうち①施設設置場所が含まれる単位自治会に境界を接する単位自治会、②施設設置による影響が大きいと思われる単位自治会、連合自治会及び関係団体を削除し、地元同意の範囲をいちじるしくせばめました。

市長の「同意権限」を強化

市長が同意するための付帯条件として、①市民生活に著しく支障をきたすおそれがない計画であること、②本市の活性化に貢献できる計画であることを新たに設け、市長の政策決定の権限をより強化しました。

議会軽視の当局の対応に抗議する

私たち市議団は、ギャンブルに頼らないまちづくりをすすめる、子どもの教育環境に悪影響を及ぼすポートピア設置に反対してきました。今回の大橋市長のポートピア設置めざす「前提条件の見直し」は、民意への挑戦であり和歌山市政に汚点を残すことになることを厳しく指摘し撤回を求めます。

また、私たち市議団は、ぶらくり丁や中心市街地の活性化をめざす立場から9月14日の本会議において改めて市長に所見を質しましたが、すでに政策調整会議で承認されていた今回の内容を黙して語らず、本会議終了後に「説明」という議会軽視にたいして強い憤りを覚えるもので

大橋市長は、建設への「条件緩和」を撤回せよ！
子どもの通学路にギャンブル場はいらない！
ギャンブル場に頼らない、地元商店街の発展を！